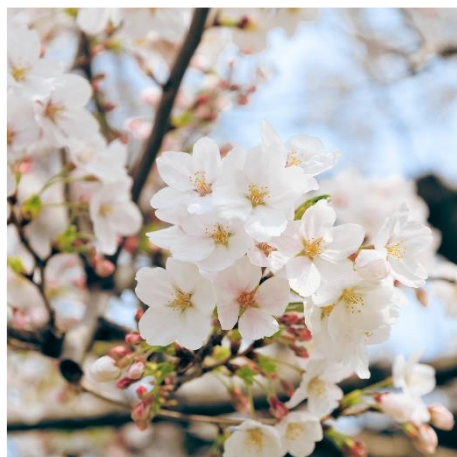
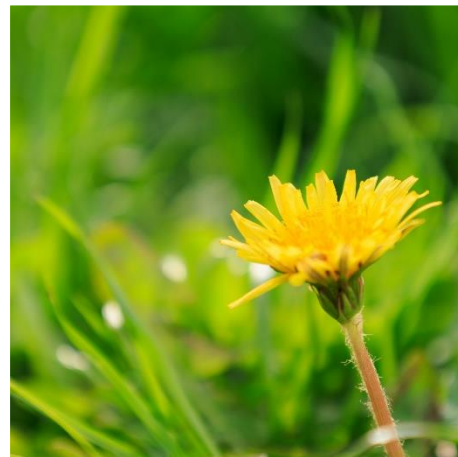




令和 6 年度 入職式



4 月 1 日に、修徳せんだんホールにおいて新採職員の入職式を行いました。

新採職員として、新卒者 11 名、第二新卒者 1 名、社会人登用者 7 名の合計 19 名が理事長より個別に採用発令を行いました。

協会にとって今年度は、新たな人事評価制度や研修制度を構築、実施していくスタートの年になります。新採職員がより成長し活躍できる体制をつくり、協会としてしっかり支援していきます。また、新採職員の柔軟

な視点や、他業種で培われた経験を大切にし、多様な職員が活躍できる環境づくりを目指していきます。

入職式に参加した新卒職員からは「入職式や研修を受け、法人理念にもあるような『くらしに笑顔と安心を』を大切にして頑張っていきたいです。」「社会人になるということもあり不安がありましたが、理事長や先輩職員のお話を聞いて気が引き締められました。この職場の一員になるんだと感ずることができました。」との感想が聞かれました。

特集

能登半島災害応援派遣レポート

自分事として考える

2月5日から3月25日まで実施した、輪島市の「特別養護老人ホームあかかみ」への職員応援派遣。
京都福祉サービス協会では、4事業所（修徳、本能、ナイトケアセンター南、桂坂）から13名が50日間にわたって支援活動を行いました。派遣された職員が感じたこと、報道だけではわからないエピソードを少しご紹介します。

「感謝を込めて」

ナイト南：上岡経子さん 桂坂：竹田知広さん

現地での活動の公休日。どのように過ごすかを悩み「迷惑にならないければ施設の掃除やレクに参加させてもらえないかなあ…」と悶々と考えていたところ、同じように考えていた竹田さんから「お好み焼きかカレーを作ってあかかみの職員さん達に食べてもらおうかと考えています！」との提案が。「派遣で来ているのに大丈夫かな…」と不安もありましたが、職員さん達に相談したところ、「ホットプレートも使ってください」と、とても協力していただきました。



当日の朝から買い出しをして、お好み焼きとサラダを準備。「誰も来なかったらどうしよう」と不安でしたが、勤務を終えた職員さん達が次々に来てくださり、応援派遣の方々や看護師さん達にも食べていただきました。

「久しぶりに温かい手作りのご飯を食べられました」「サラダが本当においしくて嬉しかった」など、嬉しい言葉を沢山いただきました。ささやかですが、業務外でも職員さん達と交流できたこと、また感謝の気持ちをお伝えすることができて、有意義な時間となりました。



私は施設での勤務経験がないので、務まるか不安でしたが、暖かく受け入れていただき、無事に活動を終えられました。

4月半ば、あかかみの職員さんから、施設前の八重桜がきれいに咲いた画像が届きました。誰かとつながることが介護の職場で一番だと感じました。大奮闘した日々を思い返しながら、私自身も今の職場で人とつながり、元気の素を見つけていきたいと思います。

「訪問事業から施設への応援」

ナイト南：三芳恭子さん

あかかみは外観上の被害は少なかったですが、大きな給水タンクが並べられ、断水状態でした。100名以上のご利用者の生活が維持されていることは驚きでした。

自身も被災した職員さんが、施設に泊まり込んだり、避難所から通いながら、ご利用者の生活を支援していました。各地からのボランティアの支援体制が週単位で組まれていましたが、誰がどんな役割を担っているか、すぐにはわかりませんでした。

多くの施設は建物が崩れ、ご利用者が生活できなかつたり介護の人手がなく閉鎖した施設もあったそうですが、あかかみは被害が最小限で職員さんが戻り、徐々に被災前の生活に近づいている様子を感じました。

応援派遣を決める

井上章 本部長

当協会から被災施設に応援派遣するのは、13年前の東日本大震災以来、今回で2回目です。東日本大震災の時は、市内の他法人からの呼びかけにより、発災間もない時期に被災地支援に行く段取りをしていましたが、協会内で協力をなかなか得ることができず、京都市老人福祉施設協議会がとりまとめた派遣スキームにより、ようやく派遣できました。今回は、修徳の森施設長から応援派遣の依頼を受けた際、直ぐに常務理事会で提案し、宮路理事長をはじめ、理事が即断即決で全面的に協力していくことで合意し、今回の派遣が実現しました。

応援に送り出す

修徳 森賢一 施設長

修徳からは、5名を被災地に派遣しました。感謝と尊敬の念、また無事に帰ってくることを願いつつ、このようなスタッフと一緒に働いていることを誇らしく思い、朝、京都からサンダーバードを見送りました。

災害派遣の間、自施設の事業にも負担がかかりますが、快く送り出してくれた、スタッフの皆さんにも心より感謝しております。災害派遣から戻ってきたスタッフや、送迎等多くの協力をしてくださった能登福祉救援ボランティアネットワークの皆様との会話の中で、私たちは、物資や人を届けているだけではなく、つながりや希望の光を届けていることを改めて感じました。今回の災害で亡くなられた方のご冥福と、一日でも早く日常生活が戻ることをお祈り申し上げます。

つながる

応援に手を挙げる

修徳 山本洋平さん

災害支援の活動は初めてでした。第1陣で行くにあたり、現地の状況を伝えるため、情報収集に努めました。職員の方から「地震発生から1週間ぐらいが一番厳しく、日本に私たちだけしかいないのではないかと、思うぐらい情報が無かったです。」と伺い、混乱した中での情報共有が、心の安心に繋がることを痛感しました。

ただ、職員さん達の結束が強い地域なので、地震発生後ほとんどの職員さんが施設へ駆けつけられたと伺い、つながりや協力の大切さを学ばせていただきました。

「能登応援派遣を終えて」

本能：駒田泰子さん

目の前に広がる、想像以上に衝撃的な光景。「地震から2か月・・・何も景色は変わりません。」とあかかみの施設長は仰いました。

まだ現地は復旧には程遠く、支援が必要です。派遣期間終了後も、施設同士で連絡を取り支援に繋げるべきです。

物資は、国や県から多数ある様に見受けられます。けれど、現場の職員達が必要としているものは、別のモノではないかと感じます。現地でなければ見えないモノがあります。今後も支援を継続していただきたいと思います。

自宅に帰れない職員達は、穏やかで笑顔が絶えません。きっと先行き不安だらけで、夜には泣きたくなくなるでしょうが、ご利用者や私達にはそんな素振りは見せずに支援されています。頭の下がる思いですが、もしかしたら…ご利用者に囲まれ、普通に仕事をしている間だけは、不安を一時、頭の片隅に追いやることができるのではと感じました。



まだまだ復興への応援が必要ですが、これまでの派遣の振り返りとして、自分事として共に考える集いを開催します。

『能登半島地震被災施設への応援派遣報告＆地域コミュニティにおける災害復興とつながりづくり』

2024年5月28日（火）16:00～17:30

会場：QUESTION

4F Community Steps

申込：法人本部

(075-406-6330)



下坂厚の写真日記 14

記憶とつなぐ

Instagram は QR コードを scan



ATSUSHI_SHIMOSAKA



『コバトのコトバ ～作業風景～』

東京駅から秋田新幹線に乗り換えて秋田駅に着くと、駅では大きな秋田犬とナマハゲの像が迎えてくれます。

講演と写真展のため、秋田県男鹿市にある就労継続支援 B 型事業所の『コバトのコトバ』さんを訪ねました。

『コバトのコトバ』さんは自家製コッペパンやクッキー、雑貨などをメインに取り扱うお店です。代表の船木さんが「病気や障がいのある人々の働く場所と、心の居場所を作りたい」という想いからつくられました。

お店では、障がいのある人やスタッフ、ボランティアの人がごちゃ混ぜで楽しそうに作業をされていました。ふわふわのコッペパンは毎朝店内で焼き上げ、おかず系から甘いおやつ系まで 30 種類もありとてもおいしかったです。



『たけのこ堀り』

自動車メーカーダイハツの滋賀県竜王町の工場敷地内にある竹林で、認知症のある人と家族さんと一緒にたけのこ堀りをしました。毎年開催されていますが、去年は不作だったようです。

竹林に着くと、たけのこが地面からたくさん頭を出していました。認知症がある人もない人も、みんなで楽しくいっぱいなたけのこを掘っていました。

全国のダイハツで働く社員の 1000 人以上の人が、認知症サポーター養成講座を受けておられます。地域のダイハツ販売店では地域の住民を招いて、認知症サポーター養成講座をされているそうです。ダイハツのような、認知症に理解のある企業が増えていけば嬉しいです。

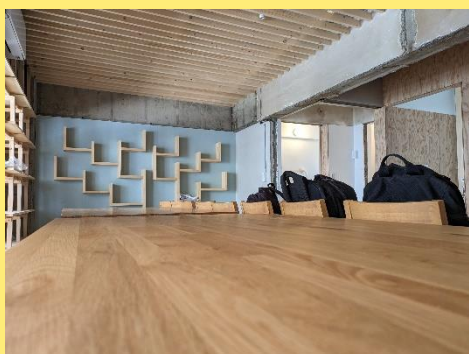
まちプロ
進捗報告

共生のまちづくりプロジェクト

新しい交流・活動の場

西野山団地 5 棟 106・107

リノベーション、完了！



住民のみなさんも参加したペンキ塗りを経て、新たな活動・交流拠点が生まれました。

「拠点の名前は、まだない」のですが、運営についても多様な担い手を募集しながら、みんなの場所になることを目指します。

「おひろめ&たいけん会」のあとも、名称やスタッフ・図書の募集を続け、6 月からは常設で地域住民や関係者が集い、つながる場にしていきます。たくさんの「かわりしろ」がある場所です。みなさんもぜひ、「ひとハコカンチョー」などでも参画してください！



団地リノベーション！



カンチョー募集のチラシ

